

# 私がいるから家である



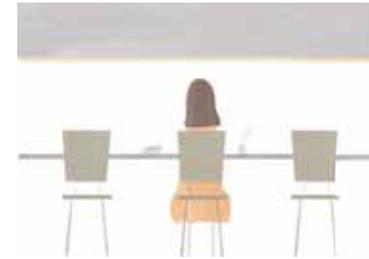
お気に入りの誰もいない丘の上



昔よく訪れた祖父母の家の縁側



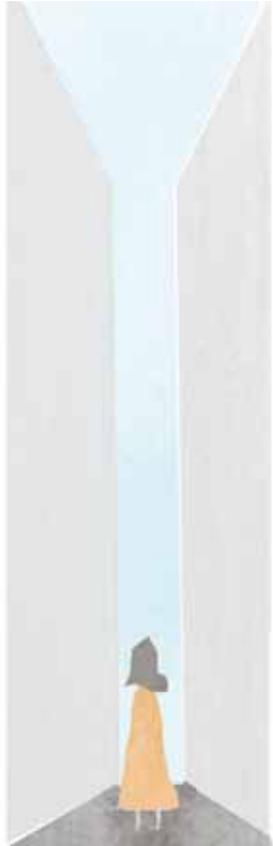
街を眺めるビルの屋上



いつも勉強するカフェの長机



よく行くレストランのカウンターキッチン



空を感じながら都市の喧騒から逃げるビルの隙間



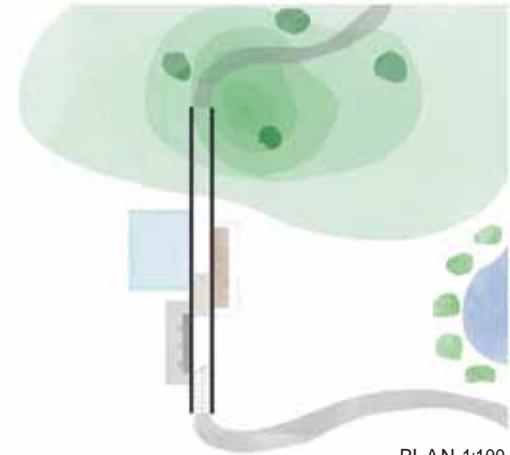
私がいるから家である。

そんな人の思いや意志が、場所を家に変えていくのではないか。

家は自分の心の拠り所となるような場所であると思う。

多様化、複雑化する現代ではこれまでの家のような一つの居場所だけでなく、様々な場所が人の拠り所となっている。

距離や時間を超えて、これまで自分が体験してきたところの拠り所となる空間の総体を家と考える。



PLAN 1:100



親と喧嘩した時に隠れた階段下



リラックスする銭湯のお風呂場



窓から朝日が入り込む寝室



気分分で歩くいつもの散歩道



家族と食卓を囲む丸いテーブル